

留学報告書 II (2025 年度留学生)

塾内在籍校・学年（派遣時）	慶應義塾湘南藤沢中等部 2 年
留学先校名	Shrewsbury School
留学期間	2025 年 9 月から 2026 年 7 月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。

私はイギリスを訪れたことも海外で暮らしたことも無かったので Shrewsbury School での生活でコミュニケーションをうまく取れるか心配していました。実際に学校に行ってみると言語は違うけれど生活環境にあまり変化はなく、学年に日本人の友達もいたので問題はありませんでした。

Shrewsbury はスポーツの強豪校と聞いていたのでスポーツ活動に期待していました。実際に行ってみると想像以上に学校におけるスポーツの割合が高く驚きましたが、今までスポーツをしてこなかった私でも楽しむことができました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

【クラブ活動や課外活動】

月：ソサイエティ

火：ジャズバンド

月水金土：スポーツセッション

木：BASE

● ソサイエティ：毎週月曜日にある 1 時間のアクティビティ

私はコンサートバンドという日本の吹奏楽のようなものに入っていました。年に 3 回コンサートがあり曲はイギリス民謡、マーベルなどを演奏しました。

● ジャズバンド

トランペット、トロンボーン、サックス、ギター、ドラムから構成されるジャズを演奏するバンド。毎週火曜日に 1 時間練習しました。曲は Africa、Chameleon などのイギリスで有名なポップソングやクリスマスコンサートに向けたクリスマスソングのジャズアレンジを練習しました。

● ミュージックレッスン

全員が受ける音楽の授業のほかに週に 1 回楽器ごとのレッスンを受けられます。私はトランペットとホルンのレッスンを週に 1 回ずつ受けていました。楽器専門の先生に習えたのでとても分かりやすく上達することができました。

● スポーツセッション

スポーツを大切にしている学校なので週に 3、4 回スポーツの時間があります。私は 1 学期にフェンシング、2 学期にグラウンドホッケー、3 学期に長距離走を選択しました。フェンシングもホッケーも過去に経験したことがなくルールから学びました。ホッケーは人数が少なかったので U14 の A チームに入りました。そのチームで Shropshire county の 2 位を取れました。

● BASE

BASE とは Shrewsbury の 3rd form が毎週木曜日に参加するアクティビティの名前でボランティア、アドベンチャー、クリエイティブアート、CCF の 4 つの分野のアクティビティをすることができます。例えば庭の手入れ、地域のホスピスの訪問、鉱山の探検、capture the flag、ダンスなど普段の授業ではできない体験をすることができました。

また、1 年の終わりに activity week という 1 年の BASE アクティビティの集大成となる週がありました。この週には 1 番のメインとなる mountain marathon という 1 泊 2 日の orienteering (Long Mynd と呼ばれる地域を 50km 以上歩くハードな 2 日間) がありました。この大変な 2 日間をハウスの友達と迷子になりながらも乗り越えたことは忘れられない思い出になりました。

勉強の進め方や進学や将来について、アドバイザーや学校の先生と話す機会がありましたか。どのようなアドバイスをいただきましたか。

mentor プログラムという新入生 1 人に 1 人同じハウスの upper 6th form が付くプログラムがあります。mentor はハーフターム毎に学校での進捗や人間関係について聞いてくれるほか、勉強がわからない時などに聞くと教えてくれます。EAL の先生は教室棟(MSB)のオフィスにいて、英語面で困ったことがあるといつでも話を聞いて助けてくれます。

将来について考える時間は BASE プログラムの一環として upper 6th form と話したり、チューターピリオド（寮の 3rd form 担当の先生）と毎週木曜日に話すことができました。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

授業の進め方で特に興味深いものがあれば、具体的に教えてください。

Shrewsbury School の 3rd form では全教科学習します。

● Math

セット（レベル）が 7 つあり、セットによって進めるスピードや内容が少し変わります。内容は日本の中学 1 年生から 3 年生でやる内容が混ざっています。単元はピタゴラスの定理、三角比、因数分解、多角形の性質などがありました。進め方は、私のセット 1 では単元の内容をはじめのレッスンで終わらせ、その後のレッスンでは応用問題をひたすら解きました。課題は毎週 2 回プリント 4 枚分ほどの課題が出ます。試験はペーパー 1 とペーパー 2 に分かれていました。日本との違いは電卓を使用して計算することです。

● English

セットが 7 つあり、セット 4(2 人以外はイギリス人のクラス) に入っていました。1 学期にはフィクションの本である“The Hobbit”について学習しました。2 学期にはシェイクスピアの作品である“Mucha do About Nothing”について学習しました。3 学期には様々なゴシック調の詩を学びました。進め方は、物語のチャプターごとに学びました。また各タームに 4 回ほどエッセイを書くタスクがありました。課題は毎週読書のタスクが 1 つと、文章の analyze のタスクが 1 つありました。日本との違いは、基本的に文法を学習しないことでした。

● Spanish/German

スペイン語、ドイツ語は 1 年を通して単語やスピーキング、文法を中心に基礎を学習しました。初めて習う人が集まったセットだったので、内容は易しく進み方も遅かったです。課題もあまりなく、たまに単語の復習課題がありました。

- **History**

1 学期は第 2 次世界大戦について、2 学期は大英帝国と奴隷制について、3 学期は黒人と女性の平等化運動について習いました。各タームに 3 個ほど長いエッセイを書きました。進め方はテキストをベースにしながら、ビデオ学習もありました。課題のエッセイがあるときには、そのプランニングから行いました。日本と比べると暗記が全くなく、先に事実を与えられて、それを基に論理を組み立てるスタイルでした。

- **Philosophy and Theology**

日本にはない哲学や宗教を中心とした教科です。1 学期は神の存在に関する論理、2 学期は倫理について、3 学期はイスラム教について学びました。進め方はテキストが半分で残りは動画と議論でした。課題はあまりありませんでした。

- **Geography**

1 学期は環境と異常気象について、2 学期は中国について、3 学期は氷河について習いました。進め方はテキストを基本としていました。課題は 2 週間に 1 回ほど短いライティングでした。日本との違いは、地理的なことをほとんど行わず、環境や政治について習うことが多いことです。

- **English as an Additional Language (EAL)**

EAL は英語が母語でない人が英語の授業と別に文法を学ぶクラスのことです。ラテン語の授業の代わりに受講します。内容は文法を基本として、ライティングのタスクもあります。進め方は先生が文法を説明した後、生徒がワークシートを解くスタイルです。週に 2 回課題が出ます。

今後の派遣留学生へのアドバイス

渡航前に日本で学習しておいた方が良く、用意しておいた方が良ければ教えてください。

まず、日々の英語学習をしっかりと続けていくことが大切です。

私は第二外国語の授業をかなり難しく感じたので、選択した 2 つの言語の基礎的な知識があると授業で助かると思いました。また理科（主に生物）の基礎的な単語を英語で知っていると、授業についていきやすくなります。

以上

